

# クレバー産業株式会社

## 2016 年度 環境活動レポート

(対象期間：2016 年9月1日 ～ 2017 年8月31日 )



作成日：2017年10月17日

## □ごあいさつ

エコアクション21を取得して約一年が経過しました。そろそろスタッフ一人一人から環境経営に対する思いや姿勢が出始める頃だと思えます。来期は、より一人でも多くから環境経営が会社にとって重要で必要なものとして理解出来る活動を目指します。

クレバー産業株式会社  
代表取締役 辰巳 文吾

## 環境方針

当社は日本有数の中小企業密集地・東大阪の一角にあります。

河内平野の東・生駒山の麓に位置し、工場や民家が密集した地域で有りながら、生駒山の豊かな自然にも恵まれています。

当社は薄板切削事業を通じて、自然環境や地域社会との調和を目指し、自主的かつ積極的に環境活動を全社員で展開します。

1. 環境関連法規と当社の約束事項を遵守します
2. 事業活動全般において二酸化炭素排出量の削減に取り組みます
3. 省資源・廃棄物削減・リサイクルを推進します
4. 節水に取り組みます
5. 環境に配慮した物品の購入を推進します
6. 環境に配慮したものづくりに努めます

制定日：2015年1月5日

改定日：2015年11月6日

代表取締役 辰巳文吾

## □組織の概要

(1) 名称及び代表者名

クレバー産業株式会社  
代表取締役 辰巳 文吾

(2) 所在地

本社 大阪府東大阪市宝町15-10

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 製造部 川上 寿夫 TEL: 072-984-4627  
担当者 製造部 高津佐 裕一

(4) 事業内容

電子部品(プリント配線板)及び樹脂板・薄板の製造・加工・販売  
主要製品:プリント配線板外形加工

(5) 事業の規模

生産平米 20,877 m<sup>2</sup>(2016年実績)

	本社
従業員	10
延べ床面積	322

(6) 事業年度

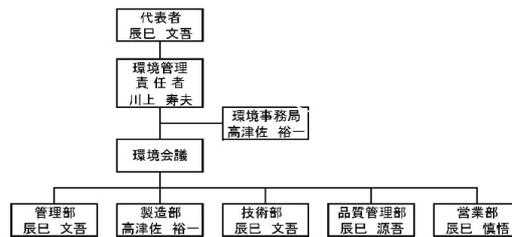
9月1日～8月31日

## □認証・登録の対象組織・活動

登録事業者名: クレバー産業株式会社  
対象事業所: 本社  
対象外: なし

活動: 電子部品(プリント配線板)及び樹脂板・薄板の製造・加工・販売

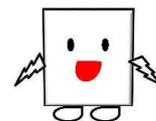
## □組織図



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>環境目標・環境活動計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>環境活動レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境目標・環境活動計画を確認</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境活動レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐、環境会議の事務局</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>環境目標・環境活動計画書原案の作成</li> <li>環境活動の実績集計</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
環境会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境活動計画の審議</li> <li>環境活動実績の確認・評価</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境方針の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

## □主な環境負荷の実績

項目	単位	2014年	2015年	2016年
二酸化炭素総排出量※1	kg-CO <sub>2</sub>	87,395	68,271	77,313
廃棄物排出量	kg	9,505	5,160	7,915
一般廃棄物排出量※2	kg	1,380	280	490
産業廃棄物排出量	kg	8,125	4,880	7,425
総排水量	m <sup>3</sup>	103	95	72



©2017 The Kinki Co., Ltd.

※1電力の二酸化炭素排出量換算値 0.522 kg-CO<sub>2</sub>/kWh

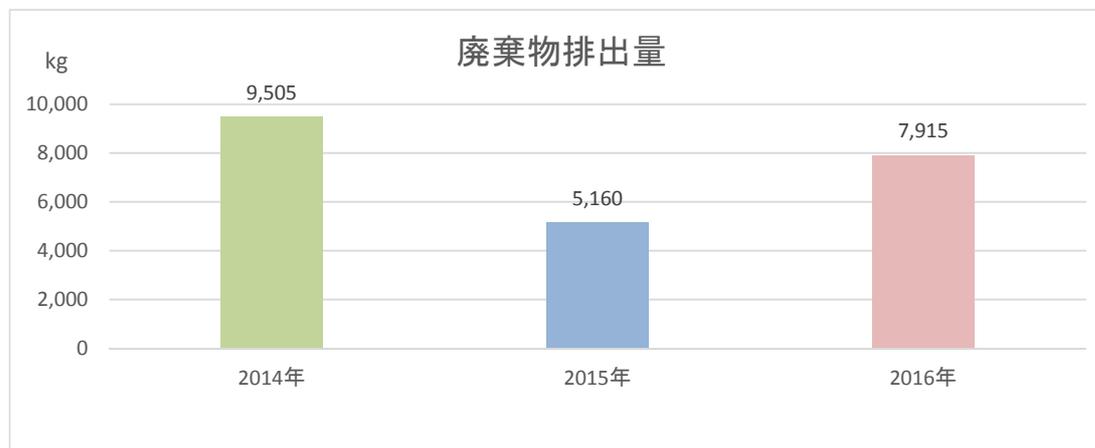
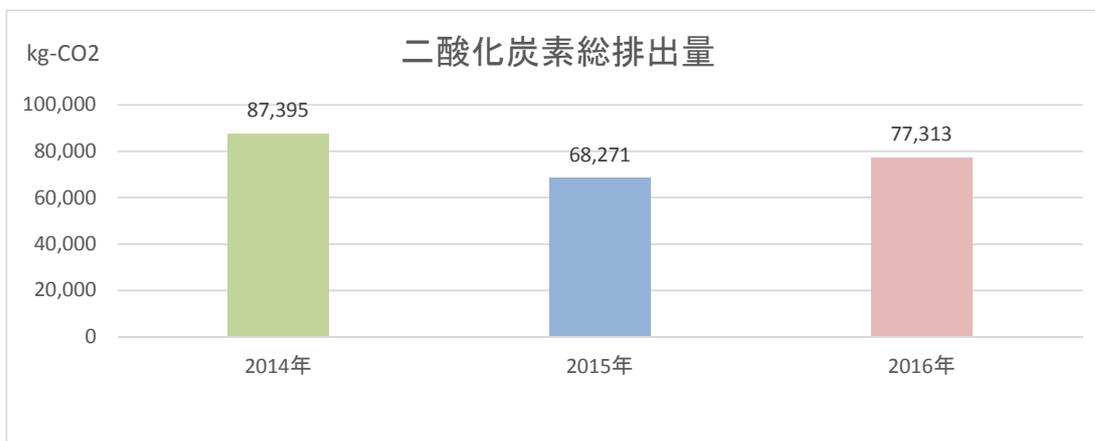
※2再資源化量（紙類）+焼却量

## □環境目標及びその実績(目標は当初目標)

項目	年度	基準値 (基準年度)	2016年		2017年 (目標)	2018年 (目標)
			(目標)	(実績)		
電力による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub> 基準年比	68,210 2014年	51,157 75%	58,906 86%	54,568 80%	51,157 75%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub> 基準年比	16,421 2014年	14,779 90%	16,254 99%	14,615 89%	14,450 88%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	84,631	65,936	75,160	69,182	65,608
一般廃棄物の削減(廃棄物焼却量)	kg 基準年比	690 2014年	276 40%	490 71%	483 70%	449 65%
廃プラの削減	kg 基準年比	8,125 2014年	4,794 59%	7,425 91%	7,313 90%	6,906 85%
水道水の削減	m <sup>3</sup> 基準年比	103 2014年	93 90%	72 70%	71 69%	70 68%
グリーン購入の推進	% 購入比率	-	40%	45%	50%	55%
環境配慮したものづくり			□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容参照			

\*灯油は少量のため、目標としていません。

\*今期の実績を踏まえて来期以降の目標値を変更しました。



## □環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標：○達成 ×未達成

活動：○よくできた △さらに取組が必要 ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
<b>電力による二酸化炭素削減</b>		
数値目標	×	エアコンを省エネのものに変更したが、仕事量の増加により目標値を上回り未達。また、室温管理をしやすくなったが設定温度範囲ギリギリの室温の時もあり細かな温度管理が課題。今期の実績を踏まえて来期以降の目標値を変更する。さらに来期より売上高原単位評価を調査し参考にする。より社内照明をLEDに変更、デマンド設定値も見直し使用電力を基準年比80%に努める。全社電力削減手順書を掲示し節電を推進する。
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	△	
・定期的にフィルターの清掃・交換等、空調機を管理している	○	
・断熱材やゴーヤ等、日射の侵入を防ぎ空調の効率化	○	
・仕掛品・仕込品・工具在庫の適正化	○	
<b>自動車燃料による二酸化炭素削減</b>		
数値目標	×	配送便数の増加により自動車燃料の目標が未達。車輛整備を定期的に行いよい状態を保てた。来期はメンテナンスを強化し、良い車輛状態を維持する。また、目標値を燃費に変更する事で仕事量の増減に影響されない活動を行う。燃費のデータ取りを開始する。
・エコドライブ等の運転方法の配慮	○	
・オイルやタイヤの空気圧の管理	○	
・排気ガス・騒音など適正な車輛整備をする	○	
・効率の良い配送	△	
<b>一般廃棄物の削減（紙類）</b>		
数値目標	×	梱包材の再利用が徹底され梱包費を抑えた。認証取得の資料作成の為印刷量が増加したが、その他は必要最小限の量に抑えた。プリンタの交換もあり印刷ミスが増えた。来期は分別の徹底を継続し印刷ミスの防止の具体策を考え削減に努める。今期の実績を踏まえて来期以降の目標値を変更する。
・梱包材の再利用・削減に取り組む	○	
・ミスコピー・印刷ミスの防止	△	
・印刷物は、必要最小限の量・サイズにする	○	
・分別の徹底（○・×）	○	
<b>廃プラの削減</b>		
数値目標	×	作業ミスによる廃棄量は個人の意識変化により約6割削減、修繕費も大きなトラブルなく約9.5割の削減となった。しかし廃プラの量が仕事量の増加に伴い目標値を上回り未達。来期は数年の廃棄量を平均化とし平均値比90%を目標に取り組む。今期の実績を踏まえて来期以降の目標値を変更する。
・作業ミスによる廃棄量を3割削減	○	
・製品を長期使用し修繕費を3割削減	○	
<b>水道水の削減</b>		
数値目標	○	水道料金は基本料金のみで変更はないが元栓を少し閉めた事で大幅な使用量削減となり困難と思われた目標達成に繋がった。雨水タンクは設置場所や雨水の集め方などもあり実施まで至らなかった。今後も節水を心がけ現状維持及び使用量の削減に努める。今期の実績を踏まえて来期以降の目標値を変更する。
・水を使用する際は節水を心掛ける	○	
・雨水利用を実現させる	△	
・水道配管の漏水を定期的に点検する（○・×）	○	
<b>グリーン購入の推進</b>		
数値目標	○	事務用品の購入の際はグリーン購入を意識するようになり目標を達成する事が出来た。プリンターを省エネ性能の高い製品に交換したり、二酸化炭素排出係数のより低い電力会社に変更するなどグリーン調達を心がけた。来期は品目を増やし更にグリーン購入に努める。今期の実績を踏まえて来期以降の目標値を変更する。
・事務用品グリーン購入比率40%	○	
・省エネ性能の高い製品の購入	○	
<b>環境配慮したものづくり</b>		
数値目標	○	テーマを持って5Sの巡回した事で違った視点からの活動が出来た。廃材の量が少なくなる様な面付けの提案、走行距離を減らす納品ルートを選定などを実施できた。クールチョイスに賛同。webサイトやFacebookを利用し環境活動を発信した。来期は社内方針を環境活動に組み込み活動していく。
・5Sの目標	○	
・無駄のない面付けする	○	
・通い箱による納品	○	
・材料情報を把握する	○	
・webによる加工情報を発信する	○	

**□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無  
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。**

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（廃プラ）
騒音・振動規制法	空圧機、空調機
フロン排出抑制法	業務用空調機
大阪府自動車流入規制	バン
顧客要求事項	化学物質管理・マネジメントシステムの運用・納期厳守

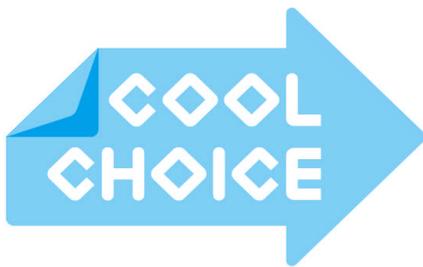
環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。  
なお、違反、訴訟等は過去3年間ありませんでした。

**□代表者による全体の評価と見直し**

EA21取得後1年不足ではあるが実行委員はEAのシステムをある程度理解出来ている。また全社  
的理解や活動の活性化も工夫している。

この先テーマ選定は少しずつ難しくなっていくと予想出来るが、根気よく継続できればもより環境経  
営が会社全体に浸透していく。小さなPDCAを幾つもまわしていくイメージ。

**□環境活動の紹介**



未来のために、いま選ぼう。

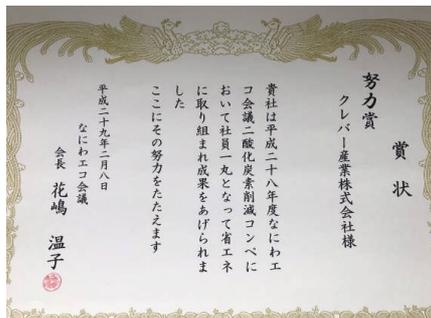
COOL CHOICE賛同



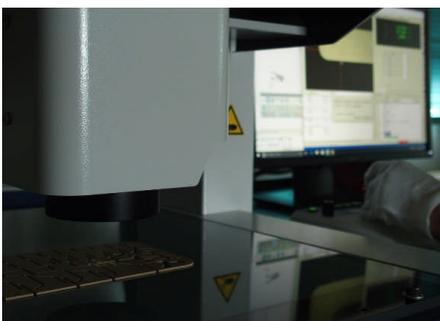
空調温度設定



環境会議



なにわエコ会議 努力賞



省エネ機器への切替



照明の間引き